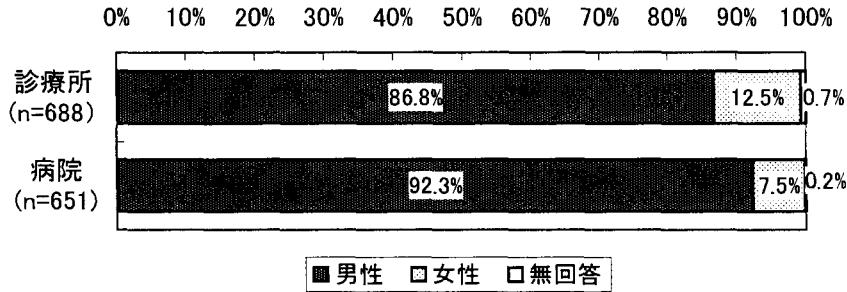
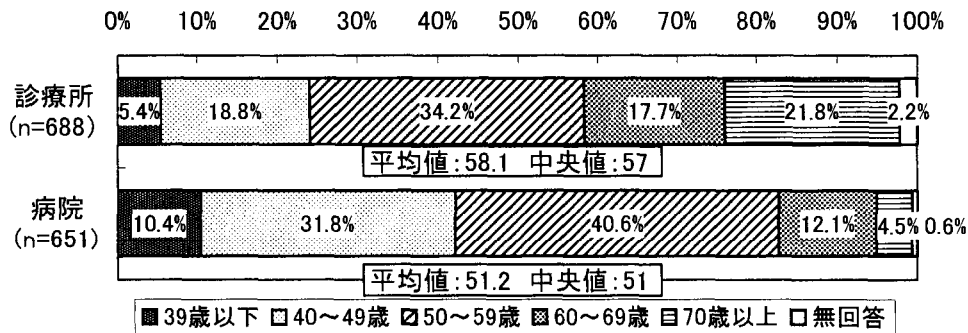


3) 医師の属性

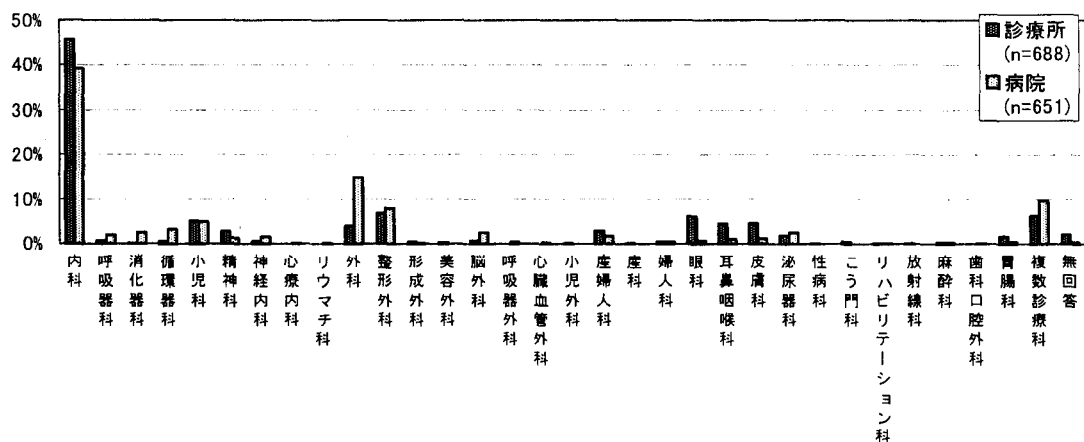
図表 38 医師の性別



図表 39 医師の年齢



図表 40 医師の主たる担当診療科



4) 診療所・病院の体制

図表 41 常勤の医師数・薬剤師数

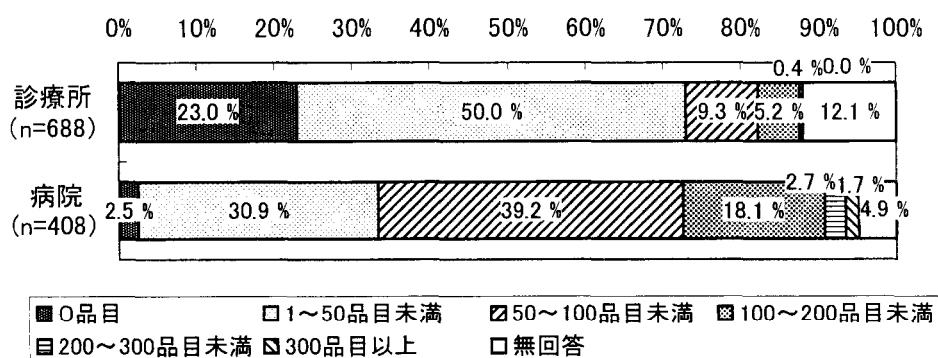
| | | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
|--------------|---------|------|------|-----|
| 診療所 n=688 | 医師数(人) | 1.2 | 0.6 | 1 |
| | 薬剤師数(人) | 0.1 | 0.3 | 0 |
| 病院 n=408 | 医師数(人) | 31.4 | 65.8 | 9 |
| | 薬剤師数(人) | 6.4 | 7.2 | 4 |

5) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況

図表 42 医薬品の備蓄状況

| | 診療所 (n=688) | | | 病院 (n=408) | | |
|---------------------|-------------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| ① 医薬品備蓄品目数(品目) | 149.4 | 500.3 | 80.0 | 881.1 | 548.6 | 800.0 |
| ② うち後発医薬品の備蓄品目数(品目) | 23.4 | 36.0 | 9.0 | 74.7 | 66.8 | 61.5 |
| ③ ②/① | 15.7% | | 11.3% | 8.5% | | 7.7% |

図表 43 後発医薬品の備蓄状況



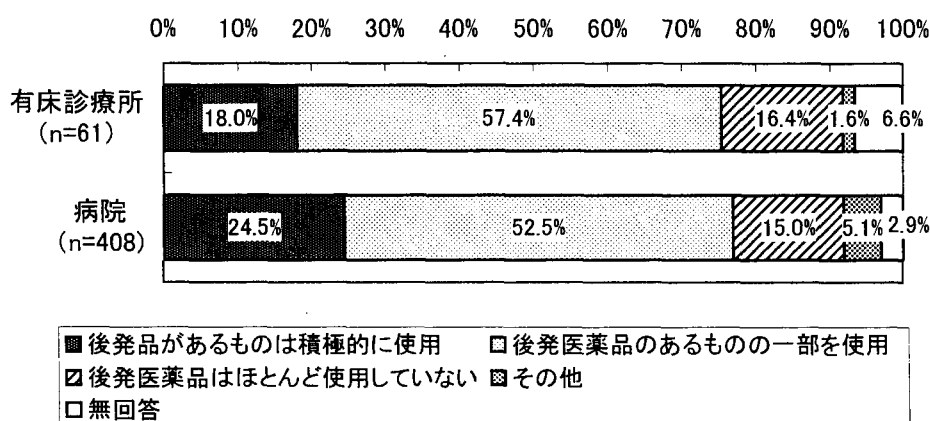
6) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等

図表 44 1か月間の延べ在院患者数

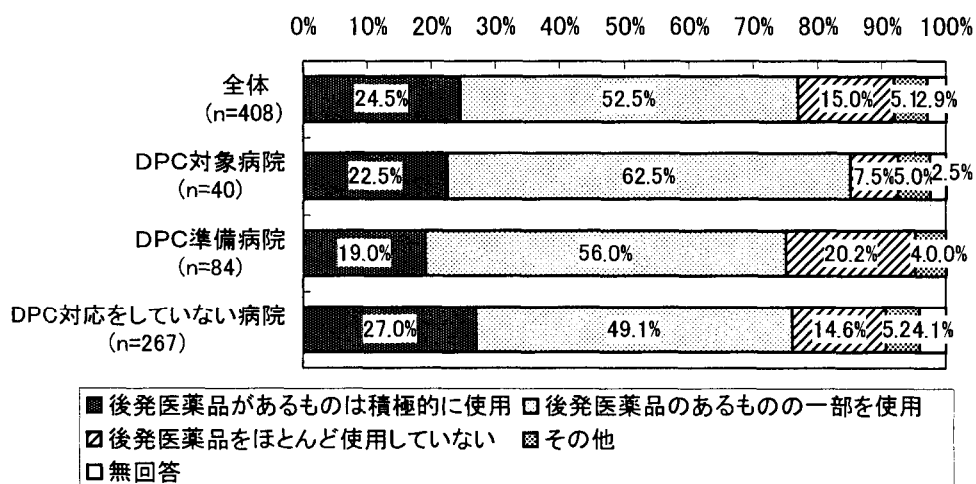
| | 有床診療所(n=61) | | | 病院(n=408) | | |
|-----------------|-------------|-------|-------|-----------|---------|---------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| 1か月間の延べ在院患者数(人) | 363.0 | 431.1 | 277.5 | 4,782.0 | 4,505.0 | 3,312.5 |

(注) 有床診療所 86 施設のうち平成 19 年 7 月 1 か月間の延べ在院患者数 0 人という施設 25 施設を除いて集計している。以下、同様。

図表 45 入院患者に対する後発医薬品の使用状況

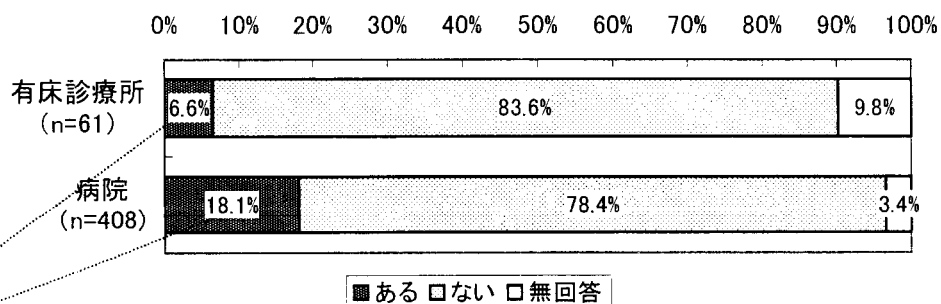


図表 46 病院における入院患者に対する後発医薬品の使用状況 (DPC対応状況別)

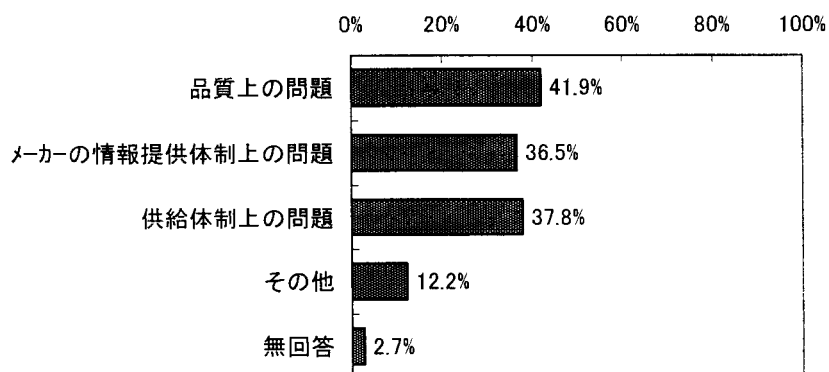


(注) 「全体」には、「DPC対応状況」について無回答であった 17 施設が含まれる。

図表 47 入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無



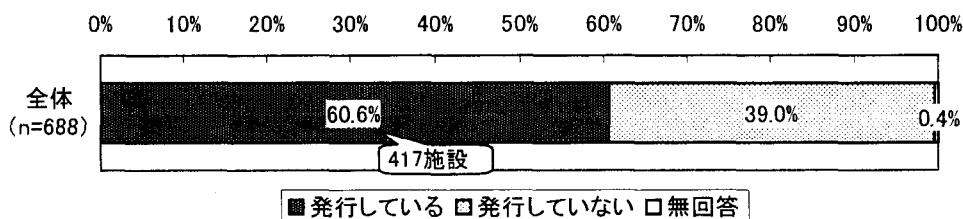
図表 48 「入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験がある」と回答した施設における、後発医薬品使用で生じた問題（複数回答）（病院 n=74）



※有床診療所 4 件の回答内訳は、「品質上の問題」が 1 件、「メーカーの情報提供体制上の問題」が 2 件、「供給体制上の問題」が 3 件、「その他」が 2 件であった。

7) 院外処方における後発医薬品の使用状況

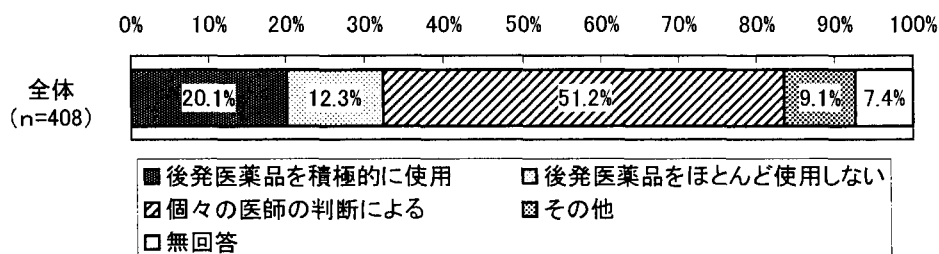
図表 49 診療所における院外処方せん発行状況



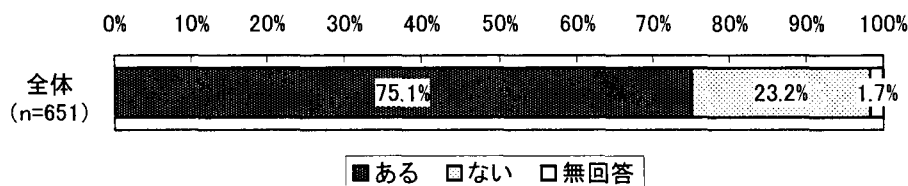
図表 50 診療所・病院における、1か月間の院外処方せん発行枚数

| | 診療所 (n=417) | | | 病院 (n=408) | | |
|-----------------------|-------------|-------|-------|------------|---------|---------|
| | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 | 平均値 | 標準偏差 | 中央値 |
| ① 1か月間の院外処方せん発行枚数(枚) | 718.0 | 835.9 | 554.0 | 3,059.1 | 3,994.6 | 1,666.5 |
| ② うち後発医薬品を含む処方せん枚数(枚) | 372.8 | 545.4 | 196.0 | 1,105.1 | 1,728.3 | 546.5 |
| ③ ②/①(平均値・中央値) | 51.9% | | 35.4% | 36.1% | | 32.8% |

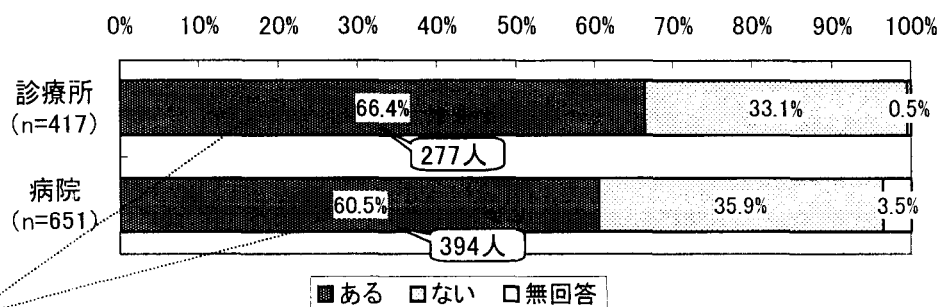
図表 51 病院における外来処方に際しての後発医薬品使用についての施設としての対応



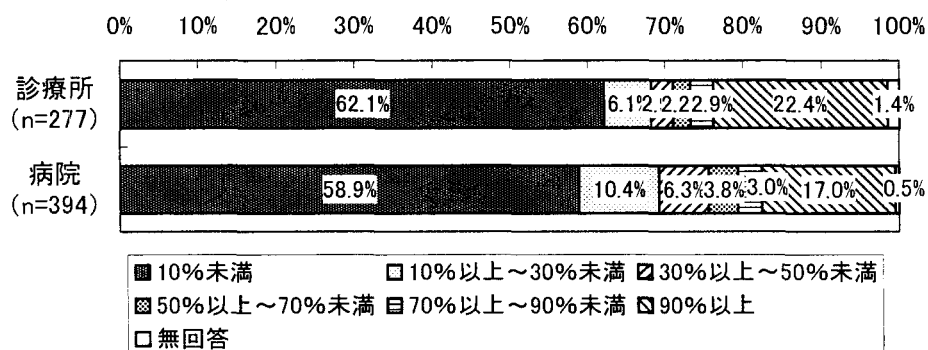
図表 52 病院外来診療担当医における、後発医薬品の銘柄指定をした院外処方せん発行経験の有無 (医師ベース)



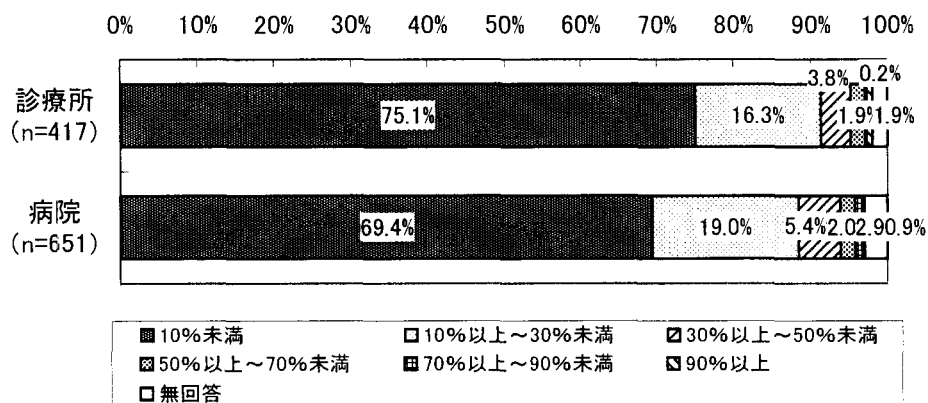
図表 53 「後発医薬品への変更可」欄に署名した処方せんの発行経験の有無（医師ベース）



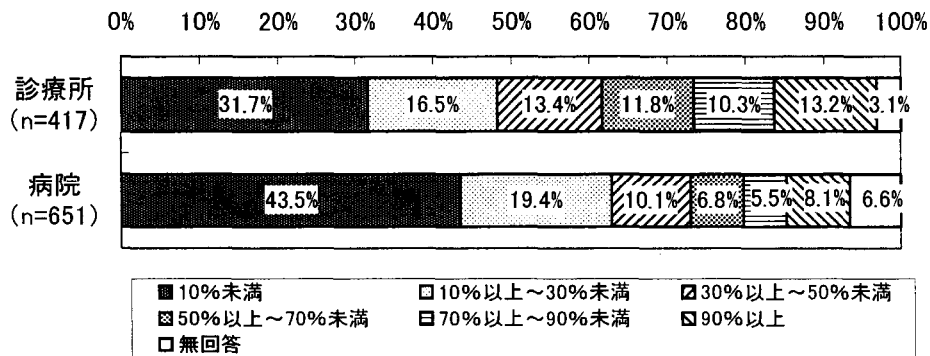
図表 54 このうち、患者の希望で「変更可」欄に署名した処方せんの割合（医師ベース）



図表 55 外来患者のうち、後発医薬品について関心がある（医師に質問する、使用を希望する）患者の割合（医師ベース）

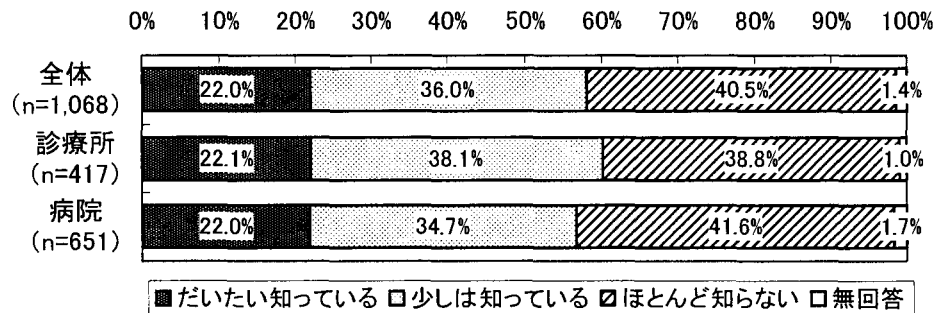


図表 56 院外処方せんを発行した患者のうち、後発医薬品を処方した患者の割合
 (「後発医薬品への変更可」に署名の場合も含む) (医師ベース)

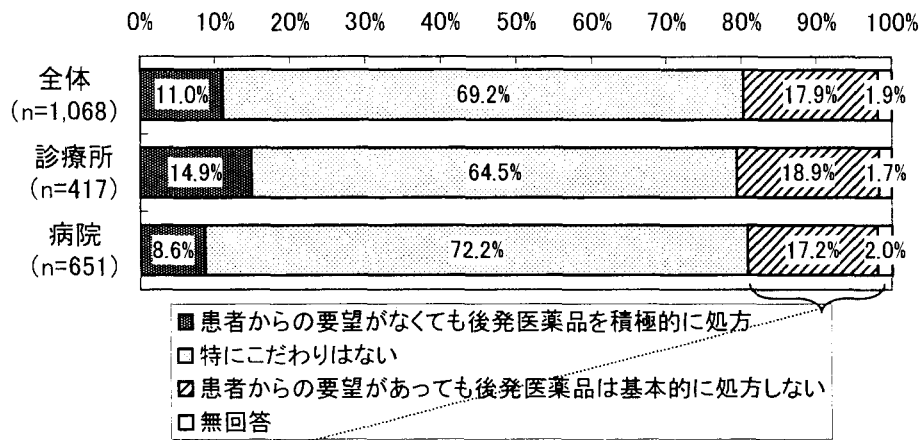


8) 後発医薬品使用に関する意識等

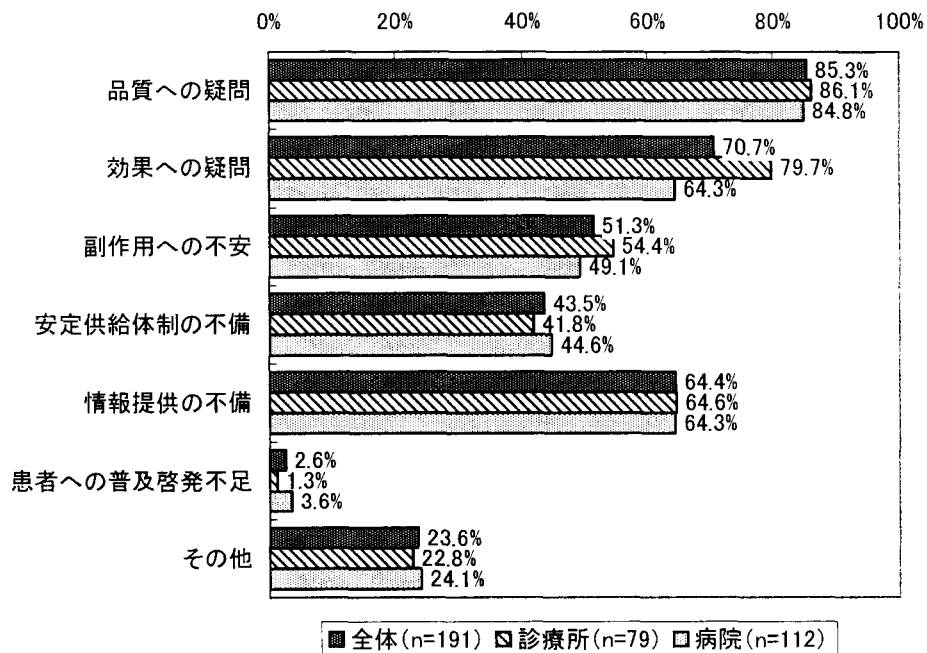
図表 57 医師における、後発医薬品の薬事承認に必要なデータの内容に関する
 認知状況 (医師ベース)



図表 58 後発医薬品の処方に関する考え（医師ベース）

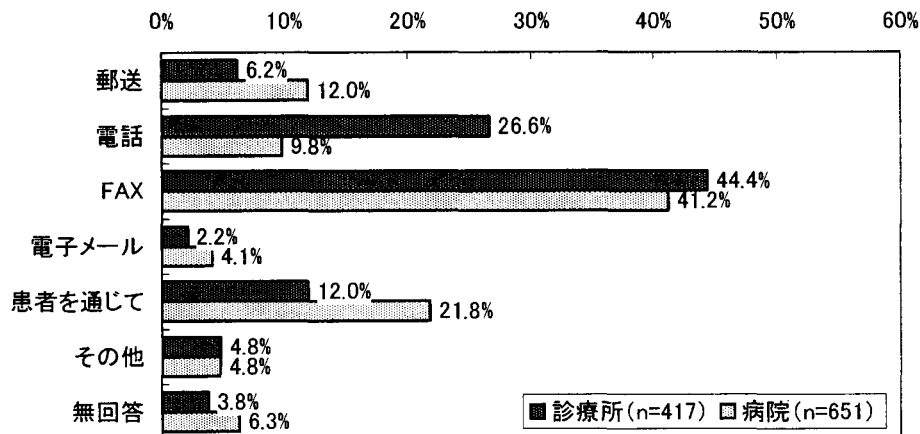


図表 59 「患者からの要望があっても後発医薬品は基本的には処方しない」と回答した医師（診療所 n=79, 病院 n=112）における、後発医薬品を基本的には処方しないその理由（複数回答）

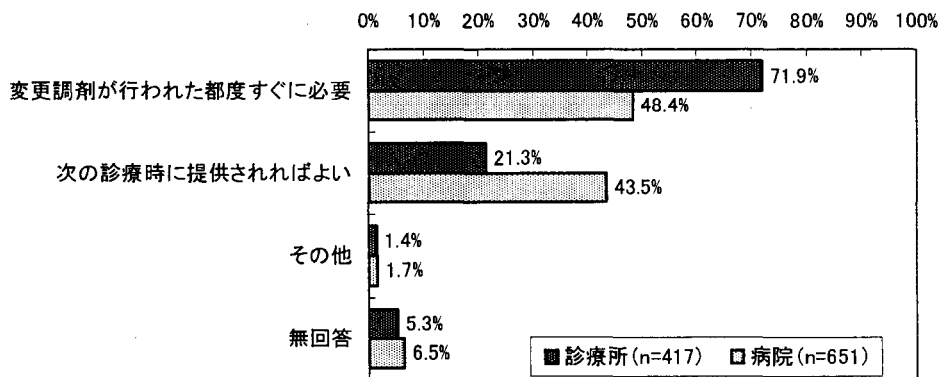


9) 保険薬局からの情報提供についての意向

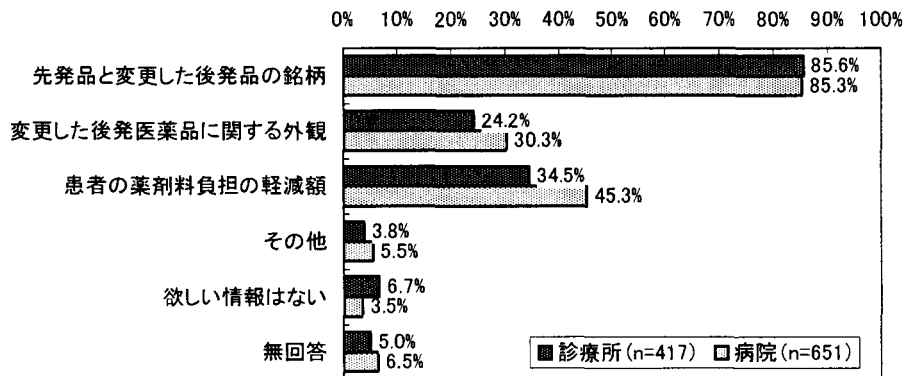
図表 60 望ましい情報提供方法 (医師ベース、単数回答)



図表 61 望ましい情報提供のタイミング (医師ベース、単数回答)



図表 62 保険薬局から入手したい情報 (医師ベース、複数回答)



平成 18 年度診療報酬改定結果検証に係る調査
後発医薬品の使用状況調査 結果概要（速報）

1. 目的

- ・ 保険薬局における「後発医薬品への変更可」に処方医の署名等がある処方せんの受付状況等の把握
- ・ 保険薬局において実際に後発医薬品に変更して調剤した医薬品の状況等の把握

2. 調査対象

- ・ 全国の保険薬局から無作為抽出（都道府県別に層化）した 1,000 施設。

3. 調査方法

- ・ 自記式調査票の郵送配布・郵送回収。
- ・ 施設属性、処方せん枚数等を尋ねる様式 1 と、実際に調剤した薬剤料を尋ねる様式 2 を配布。
- ・ 調査実施時期は平成 18 年 11 月。

4. 調査項目

| 区分 | 内容 |
|------|--|
| 様式 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 所在地、組織形態、職員数 ・ 調剤基本料の種類、基準調剤加算の有無 ・ 主たる処方せん発行医療機関及び当該医療機関の処方せん割合 ・ 1ヶ月の取り扱い処方せん枚数及び「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等があるの処方せん枚数、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん枚数 ・ 後発医薬品への対応状況（「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応、後発医薬品への変更に関する患者に対する平均説明時間等） ・ 後発医薬品へ変更した場合の銘柄等情報の医療機関への情報提供の方法、頻度、医療機関から受けた要望等 ・ 後発医薬品の備蓄状況 |
| 様式 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 処方せんへの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料及び実際に調剤した（後発医薬品を含む）薬剤料 |

5. 結果概要

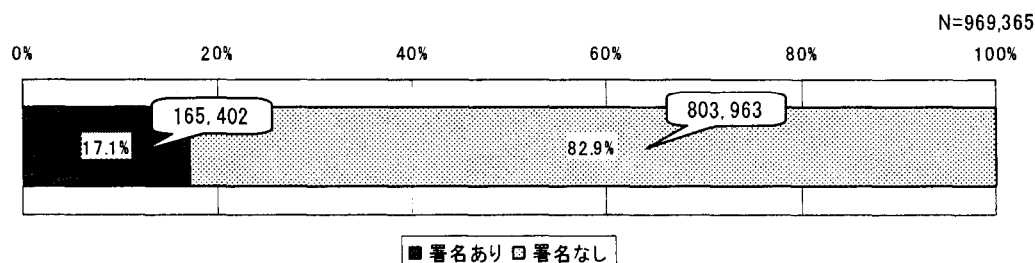
(1) 回収の状況 (図表 1)

| 調査票 | 有効回収数 | 回収率 |
|----------------------------|-------|-------|
| 保険薬局数 (様式 1) | 635 | 63.5% |
| 様式 2 に記載された処方せん数 (177 薬局分) | 1,032 | — |

(2) 1ヶ月間の取り扱い処方せんの状況 (平成 18 年 10 月) (図表 2)

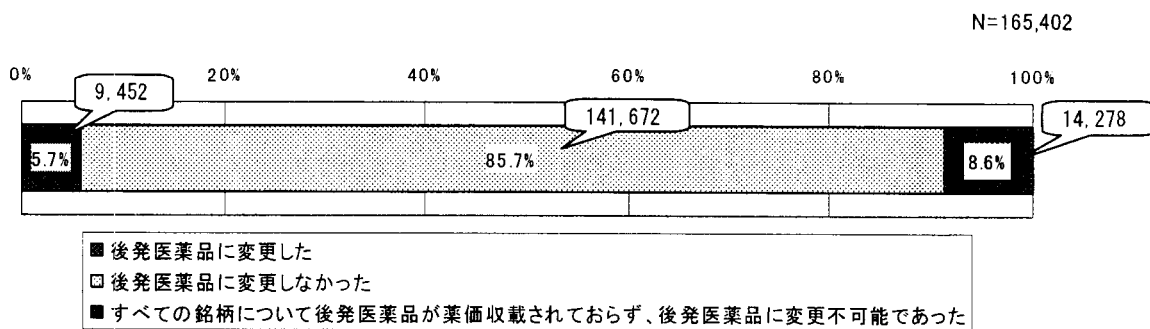
| | 全体 (n=635) | |
|---|------------|--------------|
| | 全枚数 | 1 薬局あたりの平均枚数 |
| ①全ての取り扱い処方せん枚数 | 969,365 | 1,543.57 |
| ②うち、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん枚数 | 165,402 | 268.95 |
| ③うち、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数 (1 品目でも変更した場合も含む) | 9,452 | 15.60 |
| ④うち、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん枚数 | 5,320 | 8.88 |
| ⑤「後発医薬品へ変更可」欄に処方医の署名等はあるが、処方せんに記載されたすべての銘柄について後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更することができない処方せん枚数 | 14,278 | 25.09 |

- 1ヶ月間の全ての処方せん枚数全体 (n=969,365) に占める「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんの割合 (図表 3)



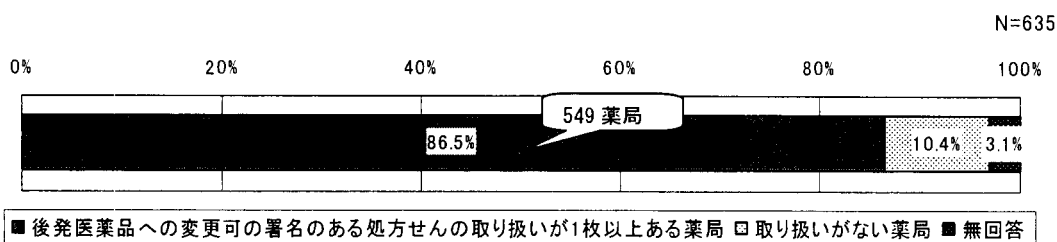
(3) 後発医薬品への変更割合（処方せん枚数ベース）

- 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん（n=165,402）における、後発医薬品への変更状況（図表4）

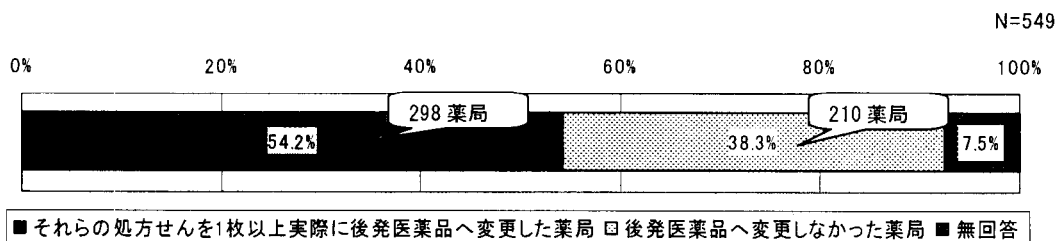


(4) 後発医薬品への変更割合（薬局数ベース）

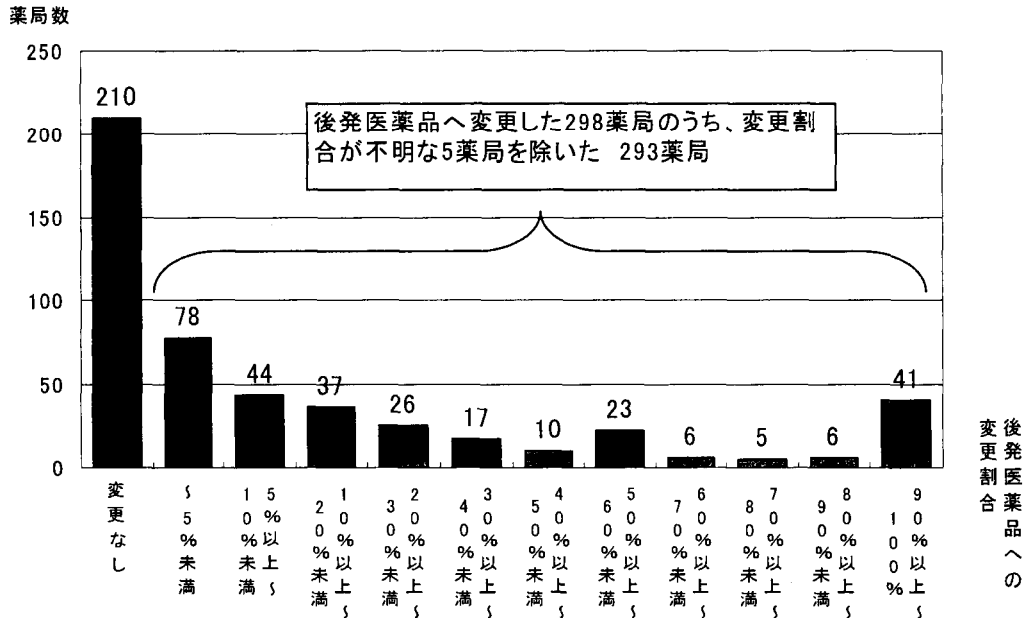
- 1ヶ月間の取り扱い処方せんのうち、後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局数の割合（図表5）



- 後発医薬品への変更可欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局(549 薬局)のうち、実際に後発医薬品に変更した薬局数の割合（図表6）

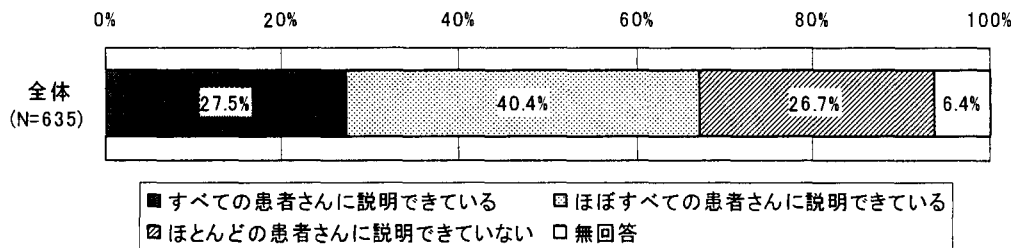


- 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを取り扱った薬局のうち、後発医薬品へ変更可の処方せん(後発医薬品が存在するもの)に占める、後発医薬品への変更割合別の度数分布(図表7)

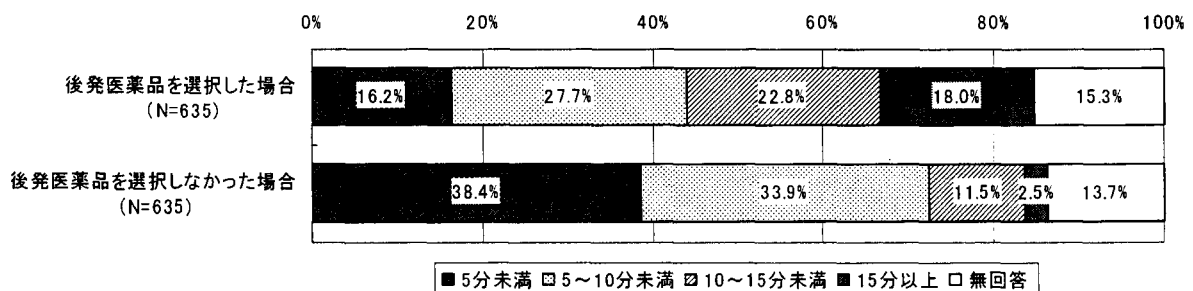


(5) 後発医薬品への変更の状況

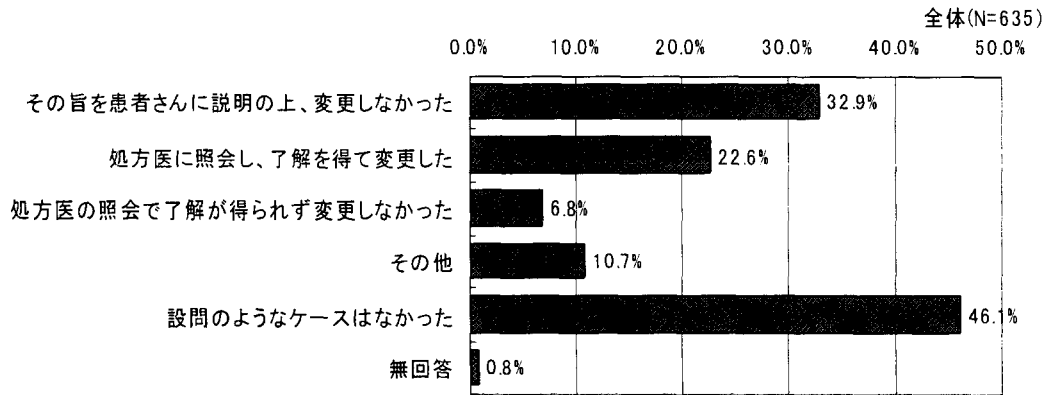
- 「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せんを持参した患者への説明(図表8)



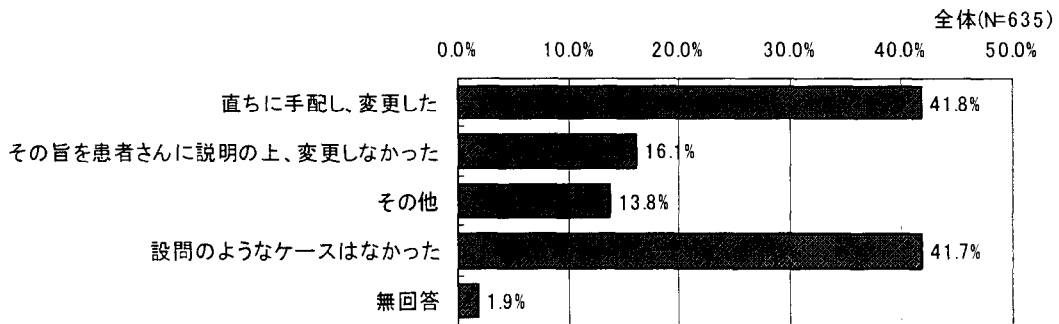
- 患者1人あたりの平均説明時間(図表9)



- 患者が後発医薬品への変更を希望したが、処方せんの「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応（図表 1 0）



- 患者が後発医薬品への変更を希望したが、患者が希望する後発医薬品の備蓄がなかった場合の対応（図表 1 1）

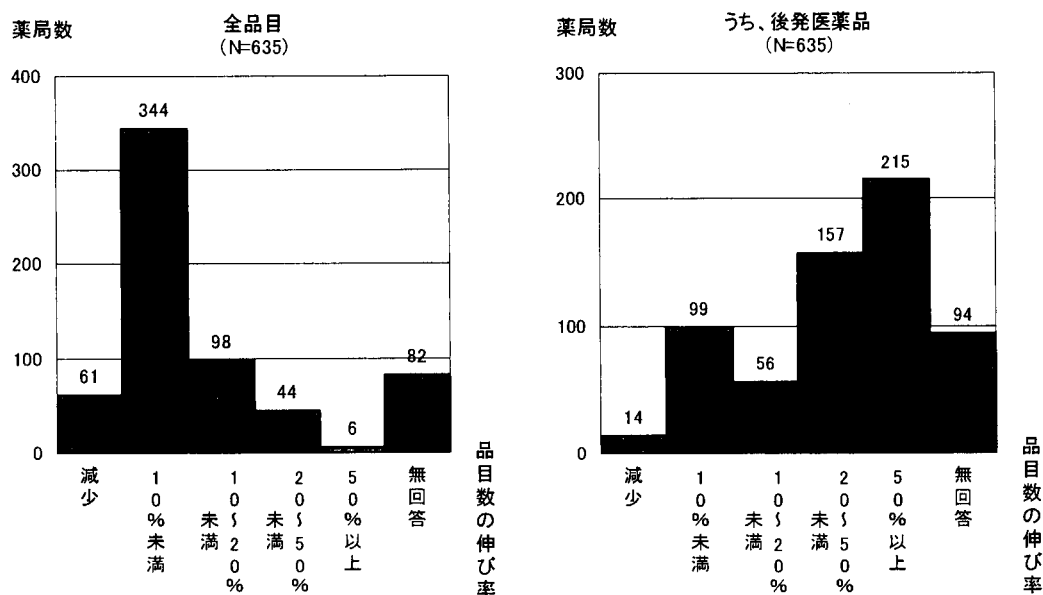


(6) 備蓄医薬品の状況

- 備蓄品目数の変化（図表 1 2）

| | | 平成 17 年 10 月 | 平成 18 年 10 月 |
|-----------------------------------|-----|--------------|--------------|
| 医薬品全品目数 | 平均値 | 805.50 | 870.58 |
| | 中央値 | 750.00 | 800.00 |
| うち、後発医薬品の品目数 | 平均値 | 70.19 | 97.64 |
| | 中央値 | 48.00 | 68.00 |
| 医薬品全品目数（平均値）に占める、後発医薬品品目数（平均値）の割合 | | 8.7% | 11.2% |

- ・ 備蓄品目数の平成 17 年 10 月から平成 18 年 10 月にかけての変化率（品目数の伸び率）の度数分布（図表 1 3）



(7) 後発医薬品調剤に伴う薬剤料の状況

- ・ 10/23~29 に調剤された処方せん（1,032 枚）の状況（図表 1 4）

| | 平均値 | 標準偏差 |
|---|--------|---------|
| 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料 (A) (点) | 839.47 | 1457.95 |
| 実際に調剤した薬剤料 (B) (点) | 605.72 | 1108.01 |
| 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合 (B/A) (%) | 65.91 | 23.29 |

※（注）後発医薬品に変更された医薬品及び変更されない医薬品を含めた、処方せん 1 枚当たりの薬剤料を計算したもの。

- ・ 記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合の分布（図表 1 5）

